

3年風組

3年生は、今年が初めての総合的な学習の時間になります。「どんなことを学習してみたい？」と、子どもたちの関心を尋ねてみると、「町たんけん」や「虫取り」など、様々な意見が出てきました。子どもの興味・関心をもとに、1学期は「有功東の生き物調査」に取り組むことになりました。「どこに行けばいいのか?」「どんな方法で生き物を捕まえればいいのか?」話し合いを重ねながら、地域の様々な場所で生き物調査をしました。やまびこ公園には、チョウが多いこと、サボテン公園にはバッタが多いこと、そして学校には思ったよりもたくさんの虫がいることが分かりました。しかけをつくって虫を捕まえたり、自然博物館の先生に来てもらって、きれいな虫の写真や、昆虫の標本を見せてもらったりする中で、子どもたちの関心はますます高まっているようです。



3年光組

理科「タネをまこう」の学習で、ハウセンカの種をまいた際、「野菜も植えてみたい。」というある子のつぶやきをきっかけに、総合的な学習の時間で野菜を育てることになりました。学級園で植えるには狭いため、総合で5年光組が昨年度までヤギ牧場として使っていた土地を開拓し畑にしたという話を聞きつけ、その隣の畑を使わせてもらうことになりました。JAの方から植え替えの方法や野菜の育て方を聞き、キュウリやミニトマトなどの野菜を畑に植えました。

野菜を育て、観察していく中で、虫がたくさん寄ってくること、雑草が次々に生えてくることを「なんとかしたい!」という願いを持ち始めました。子どもたちは、殺虫剤や除草剤を使うか使わないかの話し合いを重ねながら、「近くの畑に探検に行ってみよう。」と次の活動を見出しに行きました。地域の畑では、雑草を抜く方法や、消毒についての考えなどを教えて頂きました。

夏になり、収穫できた野菜は、学校で食べたり、家に持って帰って食べてもらったりして、子どもたちは「今まで食べた中で一番おいしい!」、「野菜が好きになった!」と学習に達成感を感じることができました。

